

第4学年 国語科学習指導案

授業者 進藤久美

1 目指す言語能力

場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の人柄や気持ちの変化・情景などについて叙述を基に想像して読みとる力

2 教材名 「白いぼうし」 あまんきみこ（光村図書4年上「かがやき」）

3 児童の実態

男子11名，女子11名，計22名のクラスである。

物語文を読む学習では，3年3学期に「モチモチの木」であらすじを一文でまとめる学習を行った。まず，場面ごとに中心人物や事件・クライマックスについて考え，グループごとに話し合うことを通して，よりわかりやすい一文にまとめてきた。4年生になってからは「三つのお願い」で，場面の情景や登場人物の気持ちを想像しながら読んだり聞き手に語りかけるつもりで声に出して読んだりすることを学習した。また，主人公の人柄がわかるところにサイドラインを引き，そこから人柄について考えた。個人の活動では，ほとんどの児童が主人公の表面的な言葉からしか考えていなかったが，話し合う中で，その言葉を言った理由も考えることが大切といった意見も出てきた。そして全体での話し合いにより，さらに多くの考えが出て，話し合いを深めることができた。

話し合い活動に関しては，3年時からできるだけグループでの活動を取り入れるようにしてきた。さらに，マニュアルを提示しながら，全員が司会を経験する機会も作ってきた。その結果として，手際よく友達の意見の共通点や相異点を見つけてまとめながら進める児童も出てきた。しかし，なかなか上手に進行できない児童もいる。また，友達の意見と比べながら発言できる児童も増えてきたが，まだ，自分の用意した意見にとどまる児童も多い。日常の話し合い活動でも積極的に自分の意見を発表できる児童もいれば，消極的な児童もいる。

日常的な取り組みとしては，3年時から国語の時間の始まりに，毎時間詩の音読をしている。1ヶ月ごとに詩を変えて，様々なタイプの詩にふれるようにしている。回数を重ねるにつれ，暗唱する児童もでてきて，大きな声で楽しく読んでいる。また，朝の会では日直のスピーチを行っている。前日に200字詰め原稿用紙を渡し，テーマにそって「はじめ」「中」「終わり」といった3つの段落を意識させて文章を書くようにしている。テーマは，「がんばっていること」「クラスの良い点・直したらよい点」など身近なものが多い。更に説明文や物語文の学習時には宿題として音読を出している。音読カードを用いて，会話文や地の文など工夫して読むことを意識させてきた。

学習にはいる前に児童に読みとりの事前調査として，「つり橋わたれ」（1の場面のみ）を読ませた。「トッコの言ったことに~~~~~，したことに————を引きましょう」では，正答5箇所のうち，5箇所引いた児童は，27%。4箇所引いた児童は31%であった。しかし，1・2箇所しか引けなかった児童が13%いた。そのため，あまり引けなかった児童に対しては，もう一度文章を読ませたり，だれが言ったことか考えさせたりしていきたい。「線を引いた箇所からどんなことがわかるでしょうか。」は，線を引いた箇所すべてに正しく記入できた児童は50%であった。しかし，無記入の児童が9%，1箇所しか記入できなかった児童が13%いたので，そうした児童に対しては文章を読ませ，机間巡視をしながら指導していきたい。また，グループでの話し合いや全体での話し合いを通して，多様な考えを学ばせていきたい。

4 指導の内容と教材のかかわり(手だて)

(1) 本指導計画において意識させたい「5つの言語意識」

相手意識 ・クラスの友だちに対して

目的意識 ・場面の移り変わりや情景を，叙述を基に想像しながら読みとるために

場の意識 ・クラスの友達に話の良さを伝える場面を通して

方法意識 ・登場人物の言動や様子を表す言葉(情景)にサイドラインを引き，わかったことを話し合う

評価意識 ・ワークシート記入や，交流しあって自分の考えを整理できたか

(2) 教材観・指導観及び学びの意欲を高めるための手だて

本教材「白いぼうし」は，中心人物である運転手の松井さんが白いぼうしをつまみ上げることにをきっかけに，不思議な世界へ迷いこむという話である。松井さんの優しさを中心に，現実と非現実が交錯する不思議な世界を「夏みかんのにおい」という嗅覚をもとにしてイメージを作る言葉，「白いぼうし」「もんしろちょうの白」「信号の赤・青」「並木の緑」などの色彩をもとにしてイメージを作る言葉をちりばめ，読者にさわやかさを感じさせながら展開していく。そのため児童は想像力を働かせて，ファンタジー要素の多いこの作品を味わうことであろう。

指導に当たっては，まず場面ごとに松井さんの人柄について考え，さらに色やにおいに注目させていきたい。そのためには，会話文や行動・想像している姿などポイントとなる言葉にサイドラインを引かせる。そして，キーワードとなる言葉を指摘し，発問するといった活動を行い，想像をふくらませていきたい。また，色やにおいは，児童にとってはみつけやすい。それゆえ，その点も押さえ，色のあらかずイメージや情景を想像させていきたい。

その後，松井さんを主人公としたあまんきみこの作品「車のいろは空のいろ」シリーズの中の物語をたくさん読み，その中の一つを児童みんなで詳しく読み取らせる。そして，松井さんを主人公として自作の物語を書く活動へとつなげていきたい。

(3) 本校の研究に関わって

国語科仮説

論理的思考力を高めるような言語活動を工夫するとともに，学び合いの場を取り入れることによって，確かな学力が身に付くだろう。

言語活動の工夫としては，さらに読みとる活動を考えた。「白いぼうし」で学習した人柄が分かるところにサイドラインを引き，話し合いを通してより人柄をつかむという活動を生かし，「車の色は空の色」シリーズの別の物語で読みとりをさせていく。そして，「白いぼうし」の松井さんを主人公とした自作の物語を書く活動を最終のねらいとしていきたい。

自作の物語を書くには，松井さんの人柄を把握しておく必要がある。そのため「車の色は空の色」シリーズの別の物語での読みとりで，さらに人柄をつかませたい。なお，物語としては「山ねこ，おことわり」を扱う。この物語は，松井さんの言動がつかみやすく，学習したことを生かして読みとりができるであろうと思われたためである。また，全員で一つの物語を読みこんでいくことにより，課題の共有化をはかれるとともに，全体での話し合いも深まると思われる。そして，色の描写についてもどのようなものがあるか広くつかませ，生かせるようにしていきたい。そして，そうしたことを生かして松井さんの人柄や色・においの描写を組み入れた物語を書く活動へとつなげていきたい。

なお、読みとりの中では、話し合い活動を行っていく。小グループの話し合いでは、多くの児童が発言することができるうえに、話し合いは根拠を基に自分の考えを述べる場でもある。それゆえ人柄についてより深く考えることができるであろう。

「松井さんの人柄をつかむこと」「根拠を基に話し合うこと」。この二つを行うことにより、さらに論理的思考力が高まり、確かな学力が身に付くであろうと考えた。

5 指導の目標

登場人物の人柄や気持ちの変化・情景などについて叙述を基に想像しながら読み、読みとったことを交流し合うことを通して、より深く登場人物の人柄や情景などを読みとることができる。

6 改善プラン・指導計画と評価計画

(1) 改善プラン

視点1 正答数分布による分析

プラン1 基礎的・基本的な知識技能を確実に習得できるような授業改善を図る。

- ・伝え合う場を多く設定するような授業を行っていく。あわせて伝え合い方(話し方・聞き方・話し合い方)の基本を提示し、確立させていく。
- ・日常的には、辞書を身近に置き、常にひく習慣を身に付けさせる。
- ・読書活動を充実させる。

視点4 具体的な問題の正誤状況による分析

プラン1 「読むこと」において、論理的な思考力を育てるための指導法を工夫する。

- ・物語を読むときは、登場人物の特徴や人物相互の関係などをとらえ、場面の展開に関わる言動を押さえながら、物語全体を把握するような指導をする。
- ・同一作者・同一テーマの複数の作品を読むようにさせる。
- ・設問を正確につかむことが大切である。日ごろから「『～こと』でまとめる」といった様々な設問のパターンを行っていく。
- ・目的に応じて段落や場面ごとに中心になる文を見つけるといった活動を取り入れ、書かれている内容をメモにまとめさせる。
- ・明確な目的や課題に基づき、様々な種類の資料を取り上げながら、必要な情報を探し、取捨選択して活用するよう指導していく。

(2) 指導計画と評価計画

指導事項	ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと
この授業で身に付けさせたい基礎的な知識・技能	声に出して音読することについての知識・技能 ・読みとったことを生かし、工夫して音読すること 叙述を正確に読むことについての知識・技能 ・登場人物の行動や会話に即して、登場人物の性格、人物同士の関係、物語上の役割をとらえること ・フィクションの世界が描かれている物語や詩の描写を、想像を働かせなが

	<p>ら読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述をもとに人物の性格や境遇，状況をつかみ，場面や情景の移り変わりとともに変化する気持ちについて，地の文や行動，会話などから関連的にとらえること <p>読んで自分の疑問や自分の考えをもつことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取った内容について，分からない点，さらに知りたい点を整理すること <p>語句の意味や漢字の読み書きの知識</p>
言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語や詩を読み，感想を述べ合うこと。 ・ 必要な情報を得るために，読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと

(読むこと) (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

全9時間(読むこと)(読むこと56時間中の10時間)

次	時	指導目標及び言語活動	基礎的な知識・技能	Aの姿	Cの手だて	評価方法	主な改善プラン
一	1	「白いぼうし」という題名からお話の内容を想像した後、「白いぼうし」を読み，松井さんを主人公とした自作の物語を書く活動を行うという見通しを持たせる。	<p>読んで自分の疑問や自分の考えをもつことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取った内容について，分からない点，さらに知りたい点を整理すること <p>語句の意味や漢字の読み書きの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字や読み替えの漢字を読むこと 	これまでの国語の学習を生かし「白いぼうし」を読み，活動内容を考え積極的に活動しようとしている	「白いぼうし」を読んで心に残った文を挙げさせ，あまんきみこの作品を読んでいくことを伝える	ワークシート ・ 観察	視点4 プラン1
二	2	場面を音読し，夏みかんにこめられた松井さんの思いを，言動に注目して読み取らせる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読みとったことを生かし，工夫して音読すること <p>叙述を正確に読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松井さんの行動や会話に即して松井さんの気持ちを読みとること 	会話文や松井さんの行動から松井さんの夏みかんに対する思いを正確に読み取っている。	会話文の中で松井さんの会話を明確にさせ，その会話文から考えさせる。	ワークシート ・ 発言 ・ 観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1
	3	場面を音読し，松井さんの人柄を，白いぼうし，たけのたけお君との関わり方から読み取らせる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読みとったことを生かし，工夫して音読すること <p>叙述を正確に読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ一つの言動とそこから考え 	松井さんの行動と会話から，松井さんの男の子を思う心やユーモア心を正確に読み取ることができる。	松井さんの行動と会話を明確にさせてから考えさせる。	ワークシート ・ 発言 ・ 観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1

		られることを整理させ、おおまかな松井さんの人柄を読みとること				
4	場面を音読し、女の子の様子と松井さんの様子を読み取らせる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みとったことを生かし、工夫して音読すること <p>叙述を正確に読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議な女の子に驚かず、白いぼうしを開ける男の子を楽しく想像する松井さんの人柄を読みとること 	不思議な女の子と松井さんの様子がわかる言葉を選び出し、女の子の不思議さやそれに驚かず男の子のことを考えている松井さんの人柄を正確に読み取ることができる。	女の子の行動と会話、松井さんの楽しい想像の様子が書かれている部分を明確にさせてから考えさせる。	ワークシート ・発言 ・観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1
5	場面を音読し、たくさんの白いちょうが飛んでいる様子を読み取り、工夫して音読させる。	<p>声に出して音読することについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みとったことを生かし、工夫して音読すること <p>叙述を正確に読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの白いちょうが飛んでいる様子を想像しながら読むこと 	たくさんの白いちょうが飛んでいる様子を想像し、工夫して小さい声の箇所を音読することができる。	どんな気持ちで小さい声をはなしているのかをつかませてから音読させる。	ワークシート ・発言 ・観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1
6	全文を読んで松井さんの人柄や色・においといった物語の特徴を整理させる。	<p>叙述を正確に読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述をもとに松井さんの人柄を読みとること ・「白い」「夏みかん」の役割について考えること 	松井さんの行動や会話をもとに、松井さんの人柄を正確に読み取ることができる。	今までのワークシートを読み直し、どのようなことがわかるか明確にさせてから考えさせる。	ワークシート ・発言 ・観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1
三	7 あまんきみこの作品「山ねこ、おことわり」を読み、松井さんの姿（人柄）を読みとらせる。	<p>読んで自分の疑問や自分の考えをもつことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取った内容について、分からない点、さらに知りたい点を整理すること ・「松井さんの言動」「色」などと項目にそってまとめること。 	松井さんの行動や会話をもとに、松井さんの人柄を正確に読み取ることができる。	松井さんの行動と会話を明確にさせてから考えさせる。	ワークシート ・観察	視点4 プラン1
本時	9 話し合いを通して、松井さんの姿（人柄）を読みとらせる。	<p>叙述を正確に読むことについての知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述をもとに松井さんの姿（人柄）を読みとること 	例：友達が読みとった松井さんの人柄を参考にして、自分が読みとった内容をより深めて書きかえている。	人柄が分かる箇所引いたサイドラインから、どのようなことがわかるか考えさせる。	ワークシート ・発言 ・観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1

10	気に入った色の描写から、どのようなことが感じられるか意見を交流させ、様々な考えを知らせる。	叙述を正確に読むことについての知識・技能 ・様子を想像しながら読むこと	自分なりのイメージを大いにふくらませて、よいと思う色の描写のイメージを発表している。	もう一度文章を読ませ、そこから感じられるイメージをつかませる。	ワークシート ・発言 ・観察	視点1 プラン1 視点4 プラン1
----	---	--	--	---------------------------------	----------------------	--------------------------------

7 本時の展開

- (1) 日 時 平成21年6月26日(金) 5校時(13:30~14:15)
- (2) 場 所 4年2組教室
- (3) 目 標 ・話し合いを通して、松井さんの姿(人柄)を読みとることができる。
- (4) 指導の工夫

改善プラン

視点1 正答数分布による分析

プラン1 基礎的・基本的な知識技能を確実に習得できるような授業改善を図る。

- ・伝え合う場を多く設定するような授業を行っていく。あわせて伝え合い方(話し方・聞き方・話し合い方)の基本を提示し、確立させていく。

視点4 具体的な問題の正誤状況による分析

プラン1 「読むこと」において、論理的な思考力を育てるための指導法を工夫する。

- ・物語を読むときは、登場人物の特徴や人物相互の関係などをとらえ、場面の展開に関わる言動を押さえながら、物語全体を把握するような指導をする。
- ・同一作者・同一テーマの複数の作品を読むようにさせる。

(5) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法・改善プラン
つかむ	1 詩の音読をする。 2 本時の学習内容を確認する。	前時までに自分が読みとったことをもとに、どんな松井さんが出てきたかを確認する。	
3分	松井さんって、どんな人？		
考える 4分	3 音読し、書きこんだ内容の確認をする。	音読し、どんな松井さんが出てきたか確認させる。	

<p>学 び 合 う</p> <p>17 分</p>	<p>4 各自が読みとったことをもとに、グループごとに話し合う。</p>	<p>話し合いの進め方を説明する。(司会者には、事前指導をしておく。)</p> <p>言動箇所正しく線が引けているか確認 線を引いたところから、松井さんの人柄について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ずつ、理由も入れて発表。 言葉はちがっても、同じような意見なら、よいとする。 ちがう意見のときは、なぜそう思ったか理由を説明したあと、話し合う。 <p>テキストへの書き込みをもとに話し合わせる。 様子に応じてテキストを読み直してみようなどと声かけをしながら机間巡視する。 意見の交流が終わったグループから、ワークシートに記入するようながす。</p>	<p>視点1 プラン1 視点4 プラン1</p> <p>グループの話し合いを通して、松井さんの行動と会話から山ねこの気持ちを考えるやさしさなど、松井さんの人柄を読みとっている。 (ワークシート・発言・観察)</p>
<p>18 分</p>	<p>5 話し合いをもとに、いろいろな松井さんの姿を読みとる。</p>	<p>グループごとに、読みとったことを発表させる。 発表を聞き、質問や意見を出させる。 自分の経験や身近な人の言動などを例にするなど、できるだけわかりやすく説明するようながす。 ポイントとなる言葉を取り上げ、考えさせる。</p>	<p>視点1 プラン1 視点4 プラン1</p> <p>全体での話し合いを通して、松井さんの行動と会話から山ねこの気持ちを考えるやさしさなど、松井さんの人柄を読みとっている。 (ワークシート・発言・観察)</p>
<p>ま と め る</p> <p>3 分</p>	<p>6 物語の流れに沿って、松井さんの姿を振り返る。</p> <p>7 次時の学習の内容を確認する。</p>	<p>松井さんのどのような姿が見られたか簡単に振り返る。</p> <p>次時は色やにおいの文について考えていくことを告げる。</p>	

(6) 評価

評価規準 (B)	Aの姿	Cへの手だて
・松井さんの行動と会話から山ねこの気持ちを考えるやさしさなど、松井さんの人柄を読みとっている。	例：友達が読みとった松井さんの人柄を参考にして、自分が読みとった内容をより深めて書きかえている。	・人柄が分かる箇所のサイドラインから、どのようなことがわかるか考えさせる。